

食育や初等教育に関心の高い子育て真っ最中世代

食しょくいく育 サポーター



平成15年から実施している幼児の料理教室「キッズ・キッチン」。これは、料理を通して五感を使い、子ども自身が発見し、体験を繰り返す食をテーマにした教育プログラムです。

この「キッズ・キッチン」の企画・運営を担当しているのが「食育サポーター」です。平成16年にボランティアグループとして誕生し、現在は「キッズ・キッチン」に加えて、小学生を対象にした「ジュニア・キッチン」の企画運営なども行っています。会員は、現在約30名。教師、保育士、管理栄養士、介護食士、歯科衛生師など初等教育や



食育、医療関係の資格を持つ会員も多く、それぞれの特技や経験を生かして、幅広い活動を行っています。

ほとんどの会員が成長期の子どもを持つ普通のお母さんですが、家庭や育児を大切に無理のない範囲の時間に関わっています。食に関心の高い普通のお母さんの“少しの時間”が沢山集まり大きな力となりました。「食育サポーター」は、地域や子どもたちのためだけでなく、“自分自身が輝けるための活動”を目指しています。



「食育サポーター」で活動するメンバー



出張講座や教室でノウハウをアドバイス



キッズ・キッチン 左上:魚をさばく体験から命の尊さを学ぶ/右上:若狭塗り箸を使ってお箸のマナーを学ぶ



子どもたちは調理体験を通して明確な達成感や満足感を味わう



キッチンスタジオ以外での活動

左上:スキルアップ研修会
左下:韓国慶州市での「キッズ・キッチン」



食しよく育サポーター